

スタートアップ部門 まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	覚王山コミュニティ・アーカイヴ
まちづくり 活 動 名	覚王山商店街のビジュアル（写真・映像）アーカイヴの収集と活用を通じた商店街文化の醸成
活 動 地 域	名古屋千種区「覚王山商店街」
活 動 の 背 景	映像メディアに関する研究・実践をしている名古屋文理大学教員の青山太郎、コミュニティの形成について研究・実践している愛知淑徳大学教員の高森順子、覚王山商店街の活性化に取り組んでいるカフェ「note coffee house」オーナーの舟戸貴織が、商店街の新旧の店舗の交流と、組合活動の継続に関する課題を共有し、それぞれの知見を生かした課題解決のあり方を模索した結果、本申請の活動を開始することとなった。
目 的 ・ 目 標	■ 目的 覚王山商店街のビジュアル（写真・映像）アーカイヴの収集と活用を通じた住民相互の理解と、街の歴史の調査・記録による商店街文化の醸成 ■ 目標 ・ 覚王山商店街の春・夏・秋祭の様子を写真・映像記録として収集する ・ 上記で得られた記録映像を覚王山商店街で上映する ■ 成果 ・ 映像上映会をつうじた覚王山商店街の新・旧店舗の相互交流の活性化 ・ 春、夏、秋祭の運営を中心とした組合活動の活発化
活 動 内 容	1. 覚王山商店街のビジュアル（写真・映像）アーカイヴの収集 覚王山商店街では、商店街組合が運営主体となって毎年4月に春祭、7月に夏祭、10月秋祭を行なっている。その祭の様子を申請者、および名古屋文理大学で情報メディア学を専攻する学生が中心となって写真・映像として記録し、収集する「ビジュアルアーカイヴ」を行う。 これに加えて、前年度には実施できなかった、商店街の店主たちへのインタビューを行う。店の歴史や商店街への思い入れなどを聞き取り、これらの映像を「ビジュアルアーカイヴ」に加える。 2. ビジュアルアーカイヴの再編集と公開 2019年度に撮影した映像や写真を整理し、今年初頭に構築したWebサイト「コミュニティアーカイヴ・プロジェクト覚王山」（http://www.kdesignlab.org/community/）上で公開する。これにより商店街の内外の人々が街の雰囲気をインターネット上で感じられるようにする。また、それを通じて、アーカイヴ活動の周知を図り、上記のインタビュー撮影などの協力を求めやすい環境をつくる。 3. 覚王山商店街のビジュアル（写真・映像）アーカイヴの上映会の実施 1で得られたビジュアルアーカイヴを編集し、上映会を実施する。覚王山商店街組合の関係者、および商店街にゆかりのある人々を招待し、商店街の今後の発展のあり方などを考えるワークショップをあわせて実施する。上映会の運営にあたっては、申請者とともに、名古屋文理大学および愛知淑徳大学の学生ボランティアがサポートする。

活動予定 期	2020 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
助成金交付 申請額	100,000 円	※1 回目（上限 5 万円） ※2 回目、3 回目（上限 10 万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
	本活動が対象とする覚王山商店街の春、夏、秋祭は、覚王山商店街振興組合が運営主体となっており、約 20 年間続いているものであり、街の風物詩となっている。しかし、祭の運営に主体的に関わる関係者は高齢化しており、その開催が危ぶまれた年もあった。 祭の継続開催が危ぶまれた要因の一つは、商店街に古くからある店舗と、新たに参画してきた店舗の交流不足にあると考えられる。 本活動によって、祭の大切さを商店街関係者に改めて認知してもらい、祭の運営に関わる人々を増やしたいと考えている。具体的には、インタビューの記録と共有によって、商店主たちに商店街へのコミットメントや他の商店への関わり方を見直してもらう。また、本活動で得られた祭の映像記録を皆で見る上映会とウェブサイトを両方開くことによって、新・旧の店舗がお互いを理解し、商店街の文化の醸成を共に目指すきっかけとなる交流をつくることができると期待される。
審査基準② 実現性	・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
	・ プロジェクトは 2019 年 4 月よりスタートしており、3 回開催された祭は名古屋文理大学、愛知淑徳大学の学生とともに写真、映像の記録を行ない、1 年分のビジュアル・アーカイブとその活動のノウハウがある。新規の活動として、インタビュー撮影と、収録した映像の再編集を加えるが、代表である青山はその専門家でもあり、メンバーへの指導を行いながら実践を行なっていく。 ・ 上記の祭の映像記録は覚王山商店街振興組合の理事の方々に見ていただき、好評を得ており、プロジェクトを進めることに了解をいただいている。 ・ 必要機材等は当面の間、申請者が関わる大学で貸与されることとなっており、映像記録活動に関わる学生も確保できている。 ・ 資金面では、撮影・編集にあたっての記録媒体の消耗品費、アーカイブ・サイトを公開するためのレンタルサーバー代などの通信費、上映会にあたっての広告にかかる印刷費などの計上を見込んでいるが、いずれも活動の性質上必要不可欠かつ最低限の経費であると思われる。
審査基準③ 発展性	・ 今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・ 活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
	・ 祭を写真、映像記録として残し、上映会で商店街に関わる人々に見てもらうことにより、祭の重要性を改めて認識してもらい、安定した継続と対話を図ることに寄与する。実際に昨年度の記録については、祭の雰囲気だけでなく、設営・撤収の手順なども記録しており、ビデオ・マニュアルとして活用することなども視野に入れている。 ・ 商店街の日常風景の撮影や、各店舗のオーナーやスタッフのインタビューなども行うことで、ビジュアル（写真・映像）とテキスト（文章）の両面からデジタルアーカイブの充実を図る。それにより、新旧の商店街関係者がお互いを理解することに寄与し、商店街文化を醸成することを目指す。さらに、インターネットを介した情報発信にも同アーカイブを活用し、対話の活性化の契機として、街の活性化に繋げていく。 ・ また、報告会では NPO 法人「記録と表現とメディアのための組織：remo」のメンバーを講師として招聘し、記録活動を利活用していくための工夫や、地域への還元の方についてともに考える機会をつくる。

- 3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
覚王山商店街振興組合	祭の様子の写真、映像を記録していることについて了承済み。映像上映も内部で既に実施済み（2019/04/12）。
名古屋文理大学地域連携センター／映像デザイン研究室	申請者（青山太郎）の講義やゼミにおいて、プロジェクト参加者を募り、現在4名が参加を表明している（2019/04/03）
愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター	申請者（高森順子）の講義等で祭をサポートするボランティアを募集する（2019/5/31）
NPO 法人「記録と表現とメディアのための組織：remo」	メンバーのひとりである松本篤氏に、地域に密着して記録活動が続けていくための工夫やそれを利活用する方法、地域への還元の方などについて講演（またはワークショップ）をお願いする予定である。

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

- ・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。
- ・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2020	4	Web サイトの構築とアーカイブの整理	2019 年度に実施したアーカイブ資料を整理しつつ、こうした映像資料を共有するための Web サイトをデザイン・実装・公開する
	5	アーカイブの整理 映像資料の再編集	前月に引き続き、2019 年度に実施したアーカイブ資料を整理しつつ、サイト上にアップするための映像資料を作成・再編集する
	6	アーカイブの整理 映像資料の再編集 申請書提出	前月に引き続き、2019 年度に実施したアーカイブ資料を整理しつつ、サイト上にアップするための映像資料を作成・再編集する
	7	打ち合わせ	新型コロナウイルスの感染状況をみながら学生メンバーなどと今年度の実施計画を再点検する
	8	記録活動実施	覚王山夏祭（8 月 1 日、2 日）の映像・写真記録の実施、およびインタビュー記録
	9	振り返り	夏祭の写真、映像記録の上映用編集映像のチェック、記録活動についての振り返り
	10	打ち合わせ	秋祭の記録活動、年度内のインタビュー撮影、年度末の上映会に向けた打ち合わせ
	11	記録活動実施	覚王山秋祭（11 月 7 日、8 日）の映像・写真記録の実施、およびインタビュー記録
	12	振り返り	秋祭の写真、映像記録の上映用編集映像のチェック、記録活動についての振り返りと年度末の上映会に向けての打ち合わせ
2021	1	広報活動	プロジェクトで得られた記録の上映会について関係各所（商店街、祭出店者など）に連絡。
	2	上映会活動実施 活動の報告	春、夏、秋祭の記録映像の上映会を行う 活動実施報告書の提出
	3	振り返り	次年度以降の活動について商店街振興組合を交えて協議

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出
計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

費 目 手引きの費目を参照		活動項目	内訳・算出根拠	金 額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1 回目は 5 万円、2 回目、3 回目は 1 0 万円				100,000
活動経費の内訳	通信費	サーバー代	サーバー使用料 1 年間分	16,500
	消耗品費	コピー用紙	資料印刷用（A4 普通紙 2,500 枚）	3,500
		トナー	プリンター用トナー（黒 1 本）	8,800
	謝金	広告印刷代	上映会告知の印刷代（3,000 部）	35,000
		講師謝金	上映会での講師謝金（3 時間）	20,000
		会場借上費	上映会会場賃借料（3 時間）	10,000
	交通費	講師交通費	名古屋-大阪間の往復（1 回）	10,000
支出合計				103,800

※ 1 ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。